

龍ヶ崎・10月

実いの秋、到来です

気をつけましょう

高齢者を狙ったサギが後を絶ちません。私のところにもこんな留守電が入っていました。それは、『商品を注文した方は7を押して下さい。まだ注文をしていない方は9を押して下さい』と、ただこれだけです。でも押したくなる留守番電話です。

これって誰からの電話？何かおかしいと思ったので即警察に連絡しました。警察の方が「それはサギの電話です。警察に通報してくれば相手の口座を凍結することが出来ます。また、間違っって押してしまい高額のお金を請求されてもお金は振りこまないで、すぐに最寄りの警察に連絡して下さい。あとは、警察の方で対応しますので心配しないでください」と言われました。振り込んだお金は絶対に戻ってきません。何処の誰かわからない電話にはくれぐれも注意してくださいね。

回想法センターにも、茨城県警から高齢者を狙ったサギの被害にあったメールが、ほぼ毎日のように送られて来ます。私の携帯電話も「払わないと家を差し押さえる」というようなメールがよく送られてきますが差出人の名前がありません。誰なのかわからないメールは削除していますが、家を差し押さえられることは今だにありません。

間違えて押してしまっても、慌てずに最寄りの警察に通報して被害を未然に防ぎましょう。

認知症の予防は継続が一番

9月21日の笑顔屋さんには9名の方が集まり、たわいのないおしゃべりを楽しみました。最高齢88歳の男性は、閉じこもり老人で物忘れ外来に通院していた方です。おしゃべりサロンが始まってからの常連さんで、お客さまからボランティアガイドになって10年目のベテランさんです。物忘れ外来の先生に「優等生」といわれています。

回想法センターの看板女優として採用した84歳の女性も、リックを背負い杖をお伴に元気に通ってきます。龍ヶ崎育ちの利点を生かし、お客様の呼び込みはぴかー。スマイルを浮かべた滑らかなおしゃべりでお客さまを笑顔にさせます。

こんなベテラン集団の中に何と、昔の龍ヶ崎の様子を知りたいと、福祉を学んでいる20歳の成年が加わりました。卒業後は高齢者の施設で働きたいと。爺・婆集団には実に頼もしい存在です。成年を囲み、16歳で志願してベトナムに行った戦争体験談や、一日数本の常磐線に乗り東京に行商に行った話など、皆さんしゃべるしゃべる。戦災をくぐり抜け、物のない時代を生き抜いてきた方のお話しは若い世代の心に響いたようです。

長生きしなきゃ損しちゃう。だからこうして皆とおしゃべりして笑うのが長生きの秘訣。その通りですね。

お知らせ

- * 認知症家族会・あおぞら 10月5日(水) 1時30分～15時 市民活動センター・多目的室
- * うたごえ広場 10月13日(木) 2時～4時 ショッピングセンターリブラ1階
- * 川柳カフェ 10月15日(土) 10時30分～12時 ショッピングセンターリブラ1階
- * 笑顔屋 10月19日(水) 10時30分～12時 ショッピングセンターリブラ1階
- * おしゃべりサロン 10月24日 2時から4時 開催場所 龍ヶ崎市役所地下食堂

問い合わせ先 龍ヶ崎市回想法センター 080-4209-5708

平成28年 9月25日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
Email pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www.piakaiso.sakura.ne.jp